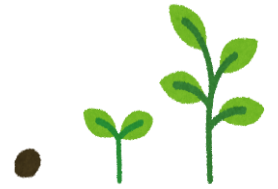


江戸東京野菜栽培記録 ～千住ねぎ編～



平成28年3月28日



千住ねぎの種は青柳小学校からいただきました。プランターの土を湿らせ、種をまき、軽く土をかぶせました。土の表面が乾いたら水をやります。水のやり過ぎは根腐れを起こすそうです。30cm程度に育ったら、畑に植え替える予定です。

平成28年4月15日

平成28年4月22日



芽が出てきました。針のように細いねぎの芽は、折れ曲がりながら出てきて、だんだんまっすぐになります。



平成28年5月14日



種は約30粒まいて、そのほとんどが発芽しました。長さは10cm程になり、葉の形もねぎらしくなってきました。よく見ると、何本かの葉が短くなっています。虫に食べられたのでしょうか？

平成28年5月27日



葉の長さは20cmを超えました。プランター2つのうち、1つ（写真右）が全滅してしまいました。どうやら、鳥に食べられてしまったようです。

平成28年6月1日



5日後、様子を見に行くと、先週まで順調に育っていた方のねぎもなくなっていました。おそらく、鳥の仕業だと思われます。芽が細くて柔らかいため、狙われてしまったようです。種まきから約2カ月で、誠之小学校の干住ねぎは全滅してしまいました。